

川波だより

祝 卒業
同窓会入会記念号

(第 69 回生)

編集・発行
島田高等学校同窓会

〒427-0038

静岡県島田市稲荷
1丁目7番1号
修己館内

電話・FAX
0547-21-1145

メールアドレス
kawanami@ab.thn.ne.jp

同窓生 22,452 名
在校生 418 名

卒業を祝して

人生における島田高校

同窓会長 鈴木善彦 15 回生



人間も長生きになって、卒業生皆さんの世代では平均寿命も90歳に到達しそうな勢いです。すると、島高生活3年間が人生の30分の1。「たかが、30分の1」その程度、とも感じられます。事実、その後の精進で人生はどのようにも開かれます。

他方、この3年間の持つ意味は、とても大きく重いものと考えられます。なぜなら、皆さんはこの3年間で人生の土台をつくったからです。一生有効な「教養」という栄養を吸収したのです。伝統といえませんが、島田高校の教育は「知徳体」にバランスが取れ、ここで得た教養はこれからのような道に進むにせよ、有形

無形に皆さんの歩みを支え、自己実現の糧になるはずで。大丈夫、「島高卒」に自信を持ってください。

加えて、この3年間での先生方や仲間との出会いは、生涯の師や友となつて、皆さんの未来を様々な形で支えてくれることでしょう。人生には喜怒哀楽、様々な局面が待ち受けます。多くのピンチにも遭遇することでしょう。そんな時、師や友を思い浮かべ、前へ進んでください。再会し旧交を温めるのもいいでしょう。共に、校歌を歌えばなおのこと。

「されど、30分の1」。人生における島田高校は、やはり大きな意義を持つているのです。

同窓会としても、皆さんを新たに迎え、母校の発展を願つて共に活動できることを心から歓迎します。ご卒業、出発おめでとうござります。皆さんのご発展をお祈りしています。

島高を 単立つ君たち 明日からは

「努力と意気」で 道切り拓け

川波賞受賞者

- 相良 鮎美 (31 HR) 全国高校駅伝競走大会出場
- 藤澤 はる那 (32 HR) 全国高校駅伝競走大会出場
- 池田 耀平 (32 HR) 全国高校総体 1500 m5位入賞
- 榎原 美琴 (31 HR) 都道府県対抗男子駅伝出場
- 大倉 奈央子 (34 HR) 全国高校弓道選抜大会団体戦
- 関野 萌花 (34 HR) 全国高校弓道選抜大会団体戦
- 渥美 佳歩 (37 HR) 全国高校弓道選抜大会団体戦
- 遠藤 梓 (37 HR) 全国高校選抜卓球大会個人戦
- 新聞 緑 (34 HR) 原水爆禁止世界大会長崎大会
- 相良 鮎美 (31 HR) 全国高校駅伝競走大会出場
- 藤澤 はる那 (32 HR) 全国高校駅伝競走大会出場
- 池田 耀平 (32 HR) 全国高校総体 1500 m5位入賞
- 榎原 美琴 (31 HR) 都道府県対抗男子駅伝出場
- 大倉 奈央子 (34 HR) 全国高校弓道選抜大会団体戦
- 関野 萌花 (34 HR) 全国高校弓道選抜大会団体戦
- 渥美 佳歩 (37 HR) 全国高校弓道選抜大会団体戦
- 遠藤 梓 (37 HR) 全国高校選抜卓球大会個人戦
- 新聞 緑 (34 HR) 原水爆禁止世界大会長崎大会

同窓会の活動と主な行事

定期総会開催

毎年8月中旬に同窓会総会を開催します。

平成29年8月19日(土)「宮美殿」にて開催予定です。卒業して同窓生となる皆さん、ぜひ出席してください。

母校の「六月祭」に参加

「同窓会ルーム」と名付けて、各界で活躍している島高卒業生の作品展示や、島高の先生の高校時代の写真展など、毎年工夫を凝らし参加しています。

「島高同窓生の集い」開催

「2017 島高同窓生の集い」を8月19日(土)の総会終了後開催します。今年は7の付く卒業生(7回生、17回生、27回生、37回生、47回生、57回生、67回生)が代表回生となりますが、同窓生は誰でも参加大歓迎です!

同窓会報「川波だより」の発行

恩師や同窓生の近況、同窓会活動のニュース、女学校時代の元気な大先輩の生き方など、興味深い記事満載です。

島高創立百周年に向けて

会員名簿「川波」の発行(既刊)や、百周年事業に向けた準備をしています。

同窓会入会に寄せて

*** 野中美知子さん 29 回生

ご卒業おめでとうございます。
 いよいよ、新しい人生の始まりの時がやってきました。これからは、親元を離れて進学する方も多くいらっしやることでしょう。自分の行動には責任をもって生きていってください。

私事ながら、縁あって10年前から、同窓会の役員をやらせていただいています。島高を卒業してから、役員になるまで、一度も島高に来たことはありませんでした。30年ぶりの島高は、変わっていません。30年ぶりに驚きました。校舎はもろろのこと、出会う生徒たちの島高らしさも変わっていないことに感慨深いものを感じました。

私は、何の取り柄もありませんが、今は障がい者に関わる仕事をしています。島高同窓会の役員をやる器でもありませんが、理事として同窓会活動に関わってきて、今まで知り得なかった先輩方や後輩と心を一つにして同窓会活動をやってこれたことは、貴重な経験だと思っています。素晴らしい同窓生に出会えたことに感謝しています。いよいよ平成30年の創立一〇〇周年記念式典に向けての準備が始まりました。高らかに校歌斉唱できる日を待ち遠しく思います。

*** 伊藤明美さん 32 回生

ご卒業おめでとうございます。
 この巣立ちの瞬間、希望にあふれていることでしょう。新しい生活、新しい出会い、新しく学ぶ世界・・・三十数年前を懐かしく思います。それぞれの未来に、自分の翼で空高く羽ばたき、島高からは遠ざかっていきますね。

私も島高とは遠く離れたつもりでしたが、こうして歳を重ねて振り返ると、島高で学んだこと、部活がすべてだった毎日、3年間での出会いが、時に勇気となり、温もりとなり、支えとなって今の自分を形成しているように思えます。

現在、同窓会事務局を運営する中で、さらに強い絆を感じます。吹奏楽部で校歌を演奏する側だった私は、同窓生の集いで、大先輩が孫ほど若い同窓生と一緒に「連山〜」と歌う姿、また会場を包む歌声に感動しました。校歌と一緒に歌える島高卒業生はすでに2万人以上、世代を越えてきつと皆さんを支えてくれるでしょう。伸ばした手に、スツと差し伸

*** 神川 剛さん 41 回生



ご卒業おめでとうございます。
 私は、一九八九年島田高校を卒業し、大学では半導体工学を専攻しました。その後、電機メーカーに就職、20年以上にわたり、モノづくりに携わってきました。モノづくりに関して、私を感じたことを伝えられたらと思います。

今、モノづくりの現場で、技術者に求められていることは、「お客様が何を求めているのか」を見抜く力です。簡単に思うかもしれませんが、意外に難しいのです。「技術者」に必要なものという専門知識や技術力と思われがちです。もちろん、それが必要です。しかし、それ以上に、相手の気持ちを考え、何に困っているのかを理解する、それをどうしたら一番適切な方法で解決できるのかを考え出す。そのための「想像力と実現力」が求められています。

自分の仕事は、誰のために、何をしようとしているのか。今していることは、本当に相手のためになっているのか、独りよがりになっていないか。これらのことをよく考え、自分の仕事の方向性を決めていく。このことは、多くの仕事にお

ける本質なのではないかと思えます。突き詰めると、すべての仕事は同じ目標に行き着くのだと、今更ながら感じています。

今後、皆様が多様な方向に進んでいかれると思います。その中で、重要な決断をしなければならぬ時が必ずやってきます。その時に、もう一度、誰のために、何をしようとしているのかをよく考えることで、方向性が見えてくるのではないのでしょうか。

皆さんには、新しい世界が待っています。チャレンジ精神を持って、前向きに進んでいってください。

第69回卒業生（H28年度卒業生）

同窓会 学年委員

- ◎ 学年委員長 ○ 副委員長
- 31 HR 小池一球 金原詩歩
- 32 HR 櫻井海宗 湯倉彩乃
- 33 HR 杉本佳史 石澤ひかり
- 34 HR 河村大輔 村松彩月
- 35 HR 池ヶ谷凜太郎 宮田真希
- 36 HR ◎ 菅木健太 鈴木あんり
- 37 HR 石野翔大 ○ 鈴木 泉

委員の皆さん！

ぜひぜひ ようしくね。



伊藤明美さん 野中美知子さん

『2016 同窓生の集い』にて
 島高が創立一〇〇周年を迎える年、皆さんは20歳ですね。校歌を一緒に歌う時を楽しみにしています。